

ストップ!ザ ハッ場ダム

ニュース 群馬(32)

ハッ場ダムをストップさせる群馬の会
代表 真下 淑恵 事務局長 鈴木 庸
TEL 027-224-8567 FAX 027-224-6624

控訴審での群馬・第9回進行協議が行われます。

平成 25 年3月28日(木)午後2時30分

東京高裁11民事部(東京の霞ヶ関)16階

応援に駆けつけてください。

～遺跡保存要望書～

2013年2月28日「ダム検証のあり方を問う科学者の会」128名の賛同者とともに文化庁長官と国交大臣に対し、ハッ場ダム予定地の遺跡保存に関して、以下の「ハッ場ダム予定地域における遺跡群の保存に関する要望書」提出しました。

1. ハッ場ダムの本体工事は中止し、当該地域一帯を文化遺産と自然遺産を生かしたフィールド・ミュージアムなど、ダムに頼らない真の地域振興を図る計画に改めること。
2. 生活関連工事にともなう発掘調査については、調査事業者である公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団などの意見を尊重し、十分な予算、期間、人員を確保して実施すること。
3. ハッ場ダムの本体工事を急ぐあまりに、遺跡をランク付けするなどして、貴重な遺跡を無用に破壊したり、調査費用や期間などを不当に縮小しないこと。
4. 上記について、後ほど貴省のご見解を文書にてお示しいただくこと。

会費納入と寄附のお願い

ハッ場ダムをストップさせる群馬の会は皆さんの会費と寄附により活動をしております。
ご協力お願いいたします。振込先は下記のとおりです。

(振込先) 郵便振替口座 00150-2-356373 (加入者名) 鈴木 庸
ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0356373 スズキ ヨウ

関東地方整備局 公聴会開催

八ッ場ダム（長野原町）建設にかかわる利根川・江戸川河川整備計画（原案）で、国土交通省関東地方整備局は24日～26日まで住民の意見を聞く公聴会を高崎市、さいたま市、久喜会場、香取会場の4カ所で開きました。

32名の公述人のうち、国交省関東地方整備局の案に賛成は3名。反対が29人でした。

高崎会場は7人全員反対（嶋津、浦野、高階、真下ほか）。

さいたま会場は賛成1人・反対21人。

久喜会場は2人のみ公述、賛成・反対1人ずつ、香取会場は1人のみ公述で賛成。

交通不便な二会場に賛成意見が集中。

賛成意見は「洪水の際、短時間で避難できる防災ステーションの設置」、「渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録を活かした環境整備」を提案している。

反対意見は「総合的な視点に欠ける」「整備局は計画の策定方針をコロコロ変え、身勝手」「八ッ場ダムは治水効果が乏しく、利水上も不要」「治水対策の財政的可能性を明らかにして」「脆弱な堤防の補強を」「八ッ場ダムは地すべりが危険」「ゲリラ豪雨による内水氾濫対策が先決」「関東地方整備局のやり方は、非常識で国民を馬鹿にして傲慢」「失われた自然をできるだけ取り戻したい」「前回のパブコメで90%以上が反対したが、当局は無視」「ダムに頼る治水はもうやめてほしい」「洪水対策に役立たないスーパー堤防が、地域住民の納得のないまま、強権的に進められている」「有識者会議の正常化」「八ッ場ダムの前提となる中和事業の汚泥処理に触れず」「ウナギを利根川に取り戻したい」「ヤマトシジミとウナギの漁獲量減少の事実と原因を明記すべき」

「（国交省職員は）未来世代に負の遺産と借金ばかり残す仕事ではなく、美しい環境を残すために住民と協議して下さい」「地震や火山活動を反映させない机上の計画」「防災を主目的とする河川整備計画で、地すべりを引き起こすような（八ッ場）ダムを認めてよいのか」「八ッ場ダムがもたらす経済・環境・安全上の損失を国交省職員は直視すべき」「民主的な手続きに従い、公正でオープンな検討を」「最小の経費で最大の効果をあげる政策を」「流域住民の安全とダム予定地住民の生活再建支援を何より優先すべき」「環境、文化財への配慮を」「借金だらけの千葉県が多額の負担を負う」「ダムや堤防も老朽化の問題がある」「役人は退職後に土建会社に再就職。ダムの受注業者は議員に献金。石原前都知事の八ッ場ダム必要論も馬鹿げていた」「前回の公聴会も、形式的でひどいものだった。公述時間は短く、関東地方整備局は質問に答えない」

八ッ場あしたの会のツイッターより転載

国交省関東地方整備局の利根川水系利根川・江戸川河川整備計画（原案） についての意見

浦野 稔

1. 関東地方整備局の河川整備計画原案の八斗島地点での治水目標流量 17,000 m³/秒は過大な基本高水流量 22,000 m³/秒を算出した流出計算モデルから算出したもので、八ッ場ダムありきの策定で過大かつ科学的根拠はありません。
2. 1998年9月の洪水について、岩島地点での観測流量から八斗島地点での八ッ場ダムの水位低減効果を計算すると 13cmしか下がりませんでした。この洪水の最高水位は堤防天端から 4mも下にあつて、治水効果はほとんどありません。八ッ場ダムの洪水ピーク削減効果は、八斗島地点から江戸川、利根川下流へと流れるにつれて、次第に小さくなっていくことが国交省の算出で明らかになっています。従つて、八斗島地点より下流でも八ッ場の治水効果はありません。カスリーン台風と同じ降水パターンの際には八ッ場ダムについては治水効果がないことが国交省の試算でも明らかです。
3. 社会インフラの維持管理・更新費は 2037年度には社会資本投資可能額に達してしまうことが確実です。河川予算を利根川・江戸川の河川改修に充当するのも限度があります。ダム建設でなく、脆弱な堤防の補強工事や内水氾濫対策や耐越水堤防の補強工事に予算を優先すべきです。
4. 1都5県の首都圏の水需要は減少続けています。今後は人口減少が急激に進行し、節水型機器の普及などにより、水使用量は益々減少しますので、利水事業の削除を求めます。
5. 八ッ場ダム予定地は地質が脆弱で、大雨による土砂流出による崩落事故や落石事故がたびたび起きています。ダムの湛水による地すべり災害が高まりますので、住民の生命と財産を守るために、八ッ場ダム事業を河川整備計画から削除を求めます。
6. 品木ダムの汚泥処理と汚泥の埋め立て処分を未来永劫続けることは、利根川水系の環境汚染に甚大な影響と被害をもたらす可能性が高くなりますので、八ッ場ダム事業を河川整備計画から削除を求めます。
7. 利根川流域の自然や流域住民の生命や財産を洪水被害や環境汚染から守るために、将来に大きな禍根を残さないように、八ッ場ダム事業を河川整備計画から削除を求めます。

新緑のハッ場ダム予定地見学会

ハッ場ダムの予定地が一年中でいちばん輝く新緑の季節、今年も恒例の現地見学会を開催します。

ダムに沈むことになっている名勝・吾妻渓谷や川原湯温泉などの自然、文化に触れつつ、巨大な橋脚やトンネルの工事現場、水没予定地住民の移転代替地などをマイクロバスで巡ります。

61年前に計画されたハッ場ダムが今、これほど大きな問題となっているのはなぜなのか、現場を見ると本当のことが見えてきます。マスコミ報道ではわからない現地のありのままの姿を是非、目で見て確かめて下さい。今回はネイチャーガイドによる解説もあります。



2013年5月12日(日)
12時30分～15時40分

集合・解散: JR吾妻線
川原湯温泉駅前

* 昼食は各自済ませてご参加下さい。

参加費: バス代込み 2000円

申し込み・問い合わせは、
下記事務局まで

お申し込みの際は、メール、電話、またはファックスにて、お名前、ご連絡先(メールアドレス、電話、ファックスなど)をお伝えください。

申し込み締切: 4月30日



ハッ場あしたの会群馬事務局 (渡辺)

メール: info@yamba-net.org

電話・ファックス: 027-253-6706

携帯: 090-4612-7073

主催: ハッ場あしたの会 <http://www.yamba-net.org/>

《東京方面から便利な交通手段》

- JR吾妻線・特急「草津」
現地へ乗り換えなし直行

【行き】

上野発 10:00

赤羽 10:10

大宮 10:26

川原湯温泉駅
12:24

【帰り】

川原湯温泉駅
15:48

大宮 17:43

赤羽 17:59

上野 18:10

(このほか、新幹線、湘南新宿ライン、吾妻線普通列車なども利用可能です。)